

子ども元気復活交付金の交付可能額通知（第5回）について

「子ども元気復活交付金」について、本日、以下のとおり第5回の交付可能額を通知した。

1. 総額
13市町村に対して国費約16億円（事業費約32億円）。
2. 主な事業
 - 学校・保育所・公園等の遊具の更新：27ヶ所
 - 運動施設の整備等：10ヶ所
 - プレイリーダーの養成等：2ヶ所
3. 今後の予定について
本日、第6回の計画募集を開始。
4. 別添資料
 - ・資料1：市町村別配分額及び主な事業
 - ・資料2：子ども元気復活交付金による整備状況について
 - ・資料3：事業概要

本件連絡先：
復興庁
原子力災害復興班 三井、島岡、三田村
TEL：03-5545-7315

市町村別配分額(国費)と主な事業

(単位:億円)

自治体名	第5回	遊具の更新	運動施設	公園	主な事業等について
1 福島市	0.76	○			○荒川桜つつみ河川公園など4ヶ所における遊具更新
2 郡山市	0.85		○		○郡山市屋内水泳場の設計
3 いわき市	6.66			○	○松ヶ岡公園の整備 ○子ども元気パークの整備
4 須賀川市	1.02	○☆	○	○	○プリムラ保育園など2ヶ所における遊具の更新、プレイリーダー養成 ○須賀川市市民スポーツ広場の整備 ○翠ヶ丘公園の整備
5 南相馬市	2.96		○		○屋内運動場の整備
6 伊達市	0.20	○			○私立霊山三育保育園など6ヶ所における遊具の更新
7 本宮市	0.29	○			○和田幼稚園など6ヶ所における遊具の更新
8 川俣町	0.04	○			○放課後児童保育施設における遊具の更新
9 大玉村	2.17		○		○大玉村屋内運動施設の整備
10 鏡石町	0.51	☆	○		○子ども達の安全な遊び方に関する教員向け講習の実施 ○鳥見山公園テニスコートの整備
11 西郷村	0.17		○		○西郷村民屋内プールの整備
12 泉崎村	0.45			○	○泉崎さつき公園児童運動広場の整備
13 矢吹町	0.16	○			○矢吹幼稚園など7ヶ所における遊具の更新
計	16.25	1.67	7.15	7.43	

※☆印は、プレイリーダー養成等のソフト事業

子ども元気復活交付金 整備状況について

子ども元気復活交付金の活用により、遊具の更新や運動施設の整備が進められ、これと一体となった子どもたちの運動する力を引き出すソフト事業も盛んに取り組まれている。

整備した施設の活用状況

【遊具の更新】

小学校における遊具の更新事業(国見町)

「ぶら下がる」「のぼる」など、幼少期に体験しておきたい各種の動きを自然と行う、創意工夫を凝らした遊具が、外遊びの機会の増加に貢献している。

【更新前】



【更新後(H26.3リニューアル)】



※「ジャングルジム」の写真はイメージです。

「ジャングルジム」を「マイロ」に更新(国見小学校)

【ソフト事業】

屋外遊具活用促進事業(天栄村)

子どもの自発的な運動にアドバイスを行う「プレイリーダー」を育成するため、学校等の教員や保育士等を対象に講習・実技指導を実施



【H25】

基礎知識に関する講演を実施



【H26以降】

設置予定の遊具を活用し、より実践的な育成事業を実施予定(天栄村立小学校等25施設)



※写真はイメージです。

ハード・ソフト一体となった取組により、効果的・効率的に子どもたちの体力向上に寄与

(参考) 「子ども元気復活交付金」を活用した運動施設の整備状況について、以下のHPに掲載中

http://www.reconstruction.go.jp/topics/20140508_seibijoukyou.pdf

参考:これまでの採択実績

これまで、計5回の配分により、約100億円で、以下の各事業を採択している。

○運動施設整備と一体的なプレイリーダー養成等のソフト事業

(郡山市、本宮市、二本松市、田村市、須賀川市、天栄村、福島市、

南相馬市、鏡石町)

○子育て定住支援賃貸住宅 ; 福島市における20戸の整備

○運動施設

・地域の運動施設41施設

(屋内運動施設19施設、屋外運動施設22施設)

・遊具の更新565箇所

子ども元気復活交付金

(福島再生加速化交付金 (福島定住等緊急支援))

事業概要・目的

- 原発事故の影響により、子育て世帯を中心とした自主避難が続いており、人口の流出による地域活力の低下が懸念されている。
- また、子どもたちが十分に運動する機会が減少し、肥満傾向の拡大や体力の低下が見られるなど、地域において健全に子どもが育つ環境が損なわれている状況にある。
- そのため、公的な賃貸住宅の整備や子どもの運動機会の確保のための施設整備の早急な実施を支援することにより、子育て世帯が安心して定住できる環境を整え、地域の復興・再生を促進する。

資金の流れ



期待される効果

- 子どもを対象とした運動施設の整備や域外に避難している子育て世帯の帰還を支援する住宅供給を行うことにより、事業対象地域における定住環境の改善が進み、地域の活性化、さらにはその復興・再生が加速することが期待される。

事業イメージ・具体例

(1) 対象区域

原発事故の影響により人口が流出し、地域の復興に支障が生じていると認められる地域

(2) 事業メニュー

①基幹事業

【運動機会の確保に係る事業】

- ・遊具の更新
- ・地域スポーツ施設、水泳プール等の整備
- ・都市公園における施設整備 等

【住環境の整備のための事業】

- ・公的な賃貸住宅等
(=子育て定住支援賃貸住宅) 整備費助成 等

②効果促進事業

基幹事業と一体となって効果を増大するソフト施策等の事業 (基幹事業の25%を上限とする)

- ・子どもの運動や遊びの支援 (イベント開催等) 等
- ・子育て定住支援賃貸住宅の駐車場整備

(3) 交付率

運動機会の確保に係る事業	1/2
子育て定住支援賃貸住宅の建設	2/3
子育て定住支援賃貸住宅の家賃の低廉化	45/100
効果促進事業	1/2